

高田義一郎 たかたに ぎいちろう 法醫學博士、小兒科醫、醫學博士。明治十九年六月  
 滋賀縣生まれ、昭和二十年六月十四日没(一八六一—一九四五)。京都帝國大學  
 醫學部卒業。大正八年千葉醫學院專門學校法醫學教授となる(これは官立の  
 醫學部校の法醫學部での兼任で、その前は初めは私)。十一年文部省在外研  
 究員として渡歐、歸朝後千葉醫科大學教授。十二年退官し、小兒科醫  
 師業、また香川高等養病院研究所長を務める。文筆も能く、隨筆家とし  
 て知られる。

『香春の』、『櫻葉の』(講社の研究) (大正十五年四月) 隆文館株式會社(、  
 『人體の趣味』(神保) (昭和二年八月) 博文館(、『らく我記』(昭  
 和三年十一月) 博文館(、現代エッセイ全集刊行會『現代エッセイ全集』(、  
 『香春を裁く』(昭和四年九月) 大阪・朝日新聞社(、『自殺學』  
 (昭和五年三月) 文芸春秋社(、『探偵科學の語』(昭和五年十一月  
 ) 博文館(、『讀文館』(博文館) (、『ハルモンの氣質』(昭和七年  
 九月) 博文館(、『讀文館』(博文館) (、  
 九、二十の讀文館(、) 等。

